

倍精度実数型となる。

4.68 D-2\*\*0.26 E1 .....0.26 E1 を倍精度実数化して計算し、結果も倍精度実数型となる。

4-2 関係式  
(relational expression)

関係演算子には、つぎの6種類があり、その両端は必ず.である。

関係演算子	意	味
.LT.	小さい (less than, <)	
.LE.	小さいか等しい (less than or equal to, ≤)	
.EQ.	等しい (equal to, =)	
.NE.	等しくない (not equal to, ≠)	
.GT.	大きい (greater than, >)	
.GE.	大きいか等しい (greater than or equal to, ≥)	

〔例〕

A.LT.12.3 ..... A<12.3 が成立すれば真、成立しなければ (A≥12.3) 偽となる。

X.LE.Y ..... X≤Y が成立すれば真、成立しなければ (X>Y) 偽となる。

P+Q.EQ.(R-S)\*T/2.0 .....  $P+Q = \frac{(R-S)T}{2}$  が成立すれば真、成立しなければ (P+Q≠ $\frac{(R-S)T}{2}$ )、偽となる。

ALPHA\*X\*\*2.NE.2.86E-3 ..... ALPHA·X<sup>2</sup>≠2.86E-3 が成立すれば真、成立しなければ (ALPHA·X<sup>2</sup>=2.86E-3)、偽となる。

25. .GT.X ..... 25.0>X が成立すれば真、成立しなければ (25.0≤X) 偽となる。

I.GE.K+(L-N)/M+5 .....  $I \geq K + \frac{L-N}{M} + 5$  が成立すれば真、成立しなければ (I<K+ $\frac{L-N}{M}$ +5) 偽となる。

4-3 論理式  
(logical expression)

論理演算子としては、つぎの3種類があり、その両端は必ず.である。

論理演算子	意	味
.OR.	論理和 (logical OR)	
.AND.	論理積 (logical AND)	
.NOT.	否定 (logical NOT)	

A.OR.B, A.AND.B, .NOT.A という結合において、A, Bの値が真であるか偽であるかにより、その結果は、つぎの表に示されたようになる。